

令和6年度・前期 神戸松蔭女子学院大学 公開講座

宣教師が見た 神戸

～神戸松蔭の歴史をたどりながら～



講師：木鎌耕一郎

神戸松蔭女子学院大学ファッション・ハウジングデザイン学科教授

7月13日



13:30～15:00

定員 100名

受講無料

神戸松蔭女子学院大学 213教室

阪急六甲駅から徒歩約15分、同駅およびJR六甲道駅から
神戸市バス36系統「鶴甲団地行き」乗車「六甲台南口」下車徒歩約5分

お申込みはWEBで

右上の二次元コードを読み取り、
フォームよりご入力いただけます。

※本学公式サイトトップ
「イベント」からもお申込
いただけます。



幕末に幕府が諸外国と結んだ修好通商条約によって、神戸を含む各地に開港場が設けられた。開港場の外国人居留地には、各国から多くの貿易商人にまじって、キリスト教の宣教師たちもやってきた。開国後に国際都市に発展した神戸の地で、外国人宣教師はどのような働きをし、何を見たのだろうか。本講座では、とくに松蔭女学校の創立者ヒュー・ジェイムス・フォースと、戦中に神戸に留まり戦後の学院の発展に尽力したレオノラ・エディス・リー女史の働きを中心にたどりながら、宣教師が見た神戸の姿をうかびあがらせてみたい。



神戸松蔭女子学院大学

お問い合わせ 地域連携研究センター

URL <https://www.shoin.ac.jp/>

TEL 078(882)8767

※平日9:00～17:00